

器官制御医学講座 泌尿器科学

1. 領域構成教職員・在職期間

教授	寺田 直樹	令和4年4月～
講師	福島 正人	平成28年6月～(平成31年4月～現職)
講師	多賀 峰克	平成18年4月～平成21年3月、平成23年4月～平成25年1月、平成25年4月～(令和4年4月～現職)
助教	関 雅也	平成19年4月～平成22年3月、平成24年4月～(平成28年4月～現職)
助教	稲村 聡	平成19年4月～平成22年3月、平成24年4月～平成27年3月、平成28年5月～(平成29年4月～現職)
助教	堤内 真実	平成22年4月～平成25年3月、平成27年4月～(令和2年4月～現職)
助教	小林 久人	平成23年4月～平成26年3月、平成28年4月～(平成31年4月～現職)

2. 研究概要

研究概要

当領域は以下の研究部門による研究を継続実施している。

- 1) 尿路性器悪性腫瘍部門
- 2) 腎臓部門
- 3) 下部尿路機能部門
- 4) 性機能部門
- 5) 排尿ケア部門

1) 尿路性器悪性腫瘍部門

1-1) すべての糖鎖は血管内皮細胞に発現するE-セレクトインとの接着能を有し転移に関与することが示唆されている。尿路上皮がんに関する研究では、糖鎖であるE-selectinが腎癌細胞に発現し、予後不良のマーカーになることを示した。また同様にsialyl Lewis x/aも治癒切除を施行された淡明腎細胞がん患者の予後予測因子にもとも報告した。また、JCOGという全国の癌臨床研究グループに属し、転移性前立腺癌に対する局所放射線治療の有用性を検証する前向き試験に参加している。

2) 腎臓部門

2-1) 抗コリン薬は夜間多尿を改善することを報告してきた。抗コリン薬の他にもメラトニンや睡眠薬でも尿量を減少させる可能性を報告してきたが、そのメカニズムとして膀胱上皮を介する水吸収は否定的である。尿管に直接カニューレーションする方法で腎尿量を測定し、腎のアクアポリン2の免疫染色やcAMPの測定を行って、抗コリン薬が腎集合管のアクアポリン2を介するメカニズムを介して尿を吸収することを報告した。この結果はScientific Reportに投稿し受理された。

3) 下部尿路機能部門

3-1) 2型糖尿病モデルとしてOLETFラットを用いて、前立腺重量に対するphosphodiesterase 5 inhibitor (PDE5i)の影響について検討を行った。その結果、OLETFラットには前立腺血流障害が存在し、PDE5iはその血流障害を改善すること、またPDE5iは血流を改善し前立腺重量の減少をもたらすことが解明された。そのメカニズムとして血流改善に伴い前立腺組織内の炎症性サイトカインの減少やIGFなどの増殖因子の低下を介して前立腺重量の減少を惹起した可能性があることを解明した。その結果をLife Scienceに投稿し、受理された。

3-2) 前立腺肥大症において高内皮細静脈 (HEV) 様血管が炎症細胞浸潤に関与しているが、この血管数は下部尿路機能障害の臨床パラメーターとよく相関する。さらに、生活習慣が前立腺の慢性炎症に及ぼす影響についても研究を行っている。特に喫煙・禁煙期間が前立腺の慢性炎症の程度と関係することを解明した。その結果をInternational Journal of Urologyに投稿し受理された。PDE5iの効果と生活習慣病との関連を後ろ向きに解析し、現在は前向き臨床試験を計画中である。

3-3) 福井県下の高齢者施設との共同研究として、フレイルと下部尿路機能障害、特に過活動膀胱との関連が深いことを解明した。また高齢者の高血圧に投与される降圧薬や睡眠薬などは抗コリン作用があり、近年抗コリン負荷をして認知機能との関連が注目されている。施設入所高齢者の抗コリン負荷をそれぞれ算定し、下部尿路機能との関連を解析した。その結果、降圧薬を投与している高齢者では排尿効率が悪いこと、すなわち残尿が多いことが解明され報告した。

3-4) 夜間頻尿は睡眠障害、夜間多尿、膀胱蓄尿障害が原因であるが、どの因子がより強く関与するかはわかっていない。われわれは睡眠に関する質問票とIPSSなどを用いて年代別の夜間頻尿に影響する因子を解明した。60代、70代では睡眠がより強く影響した。さらに、体動を感知して夜間の覚醒時間を評価するwearabl watchを用いて、適切な就寝時刻を設定するプログラムを開発し、設定した時刻に就寝することで、夜間頻尿が改善することを示し、各学会で報告した。

3-5) ボツリヌス毒素の膀胱壁内注入療法が、難治性過活動膀胱や神経因性膀胱患者の尿失禁に対して有効であり、安全であることを検証する臨床治療の統括医師として参加した。その有効性や安全についてInternational Journal of Urologyに投稿し受理された。2020年よりボツリヌス療法が全国で開始された。2024年より仙骨

キーワード

- 1) 泌尿生殖器の腫瘍、糖鎖、オートファジー、前立腺癌、薬物治療、放射線治療
- 2) 泌尿生殖器の疾患の治療、腎移植、分子メカニズム
- 3) 泌尿生殖器の疾患、下部尿路機能、メタボリック症候群、生活習慣病、過活動膀胱、夜間頻尿、ガイドライン
- 4) 泌尿生殖器の疾患、男性更年期障害、下部尿路機能障害
- 5) 排尿自立指導、長期留置、排尿ケア、感染、閉塞

業績年の進捗状況

特色等

- 1) 糖鎖マーカー、オートファジーに注目し、泌尿生殖器癌の研究を行っている。転移性前立腺癌に対する局所放射線治療の有用性を検証する前向き多機関共同試験を行っている。前立腺癌診療ガイドライン2023の執筆に携わった。
- 2) 夜間頻尿診療ガイドライン（第2版）、過活動膀胱診療ガイドライン（第3版）の作成委員として活動した。
- 3) 当部門の特色として性行動障害などの性機能障害を下部尿路機能障害、睡眠障害あるいは心理的ストレスとの関連からアプローチする手法で研究している。
- 4) 現在、寝たきり患者が増加している我が国においては、長期尿道カテーテル留置中の患者に起こるカテーテル閉塞は大きな問題となっている。常勤泌尿器科医がいない病院、施設において、その対処法、あるいは不必要なカテーテルを抜去する適切な方法には、まだ確立されたものはなく、大学と民間病院とが協力しながら行う画期的な取り組みである。
- 5) フレイル高齢者の下部尿路機能障害を多面的に解析し、新たな治療に繋げる試みを行っている。
- 6) 睡眠障害は高齢者に多いが、夜間頻尿の発生に強く関わっている。睡眠の質を改善することが夜間頻尿の改善に寄与するという仮説をたて前向き研究を行っている。

本学の理念との関係

超高齢化社会を迎え、泌尿器科癌を含め、様々な泌尿器科疾患を有する患者も急増している。尿路性器悪性腫瘍に限らず下部尿路機能障害、性機能障害などQOL疾患に対しても世界的水準での研究・教育を推進し、地域・国・国際社会に貢献できる人材の育成と独創的な研究を行っている。特に産学官連携を推進し、広く社会に貢献していると自負している。

3. 研究実績

区分		編数		インパクトファクター（うち原著のみ）	
		2017～2022年分	2023年分	2017～2022年分	2023年分
和文原著論文	ファーストオーサー	11	0	—	—
	コレスポンデンス・オーサー	13	1	29.251(29.251)	3.2(3.2)
英文論文	コレスポンデンス・オーサー	11	0	22.787(22.787)	0(0)
	その他	14	7	51.648(45.723)	18.7(18.7)
合計		28	8	80.899(74.974)	21.9(21.9)

- (A) 著書・論文等
(I) 英文：著書等

業績一覧

- a. 著書
- b. 著書（分担執筆）
- c. 編集・編集・監修

(2) 英文：論文等

a. 原著論文（審査有）

- 2341082** Masaki Shiota, Dai Takamatsu, Yoshiyuki Matsui, Akira Yokomizo, Shuichi Morizane, Ryoichi Saito, Makito Miyake, Masakazu Tsutsumi, Yoshiyuki Yamamoto, Kojiro Tashiro, Ryotaro Tomida, Shintaro Narita, Kohei Edamura, Takahiro Yamaguchi, Kohei Hashimoto, Masashi Kato, Takashi Kasahara, Takayuki Yoshino, Shusuke Akamatsu, Tomoyuki Kaneko, Akihiro Matsukawa, Ryuji Matsumoto, Akira Igawa, Takahiro Saito, Takuma Kato, Masahiro Kato, Uidaki Enokida, Shuichi Saito, Masaki Terada, Akira Yokomizo, Masaki Shiota, Futoshi Morokuma, Masatoshi Eto, Hideyasu Matsuyama, Hiroaki Matsumoto, Toshiyuki Kamoto, Naoki Terada, Kazuya Kawahara, Hideki Enokida, Shuichi Tatarano, Naohiro Fujimoto, Katsuyoshi Higashijima, Hideki Sakai, Tomoaki Hakariya, Tsukasa Igawa, Shigetaka Suekane, Tomomi Kamba, Yutaka Sugiyama, Junji Kishimoto, Seiji Naito, Masaki Shiota: GnRH specific survival with curative radiotherapy to the prostate for metastatic prostate cancer according to estimated survival by risk group, Int J Urol, 30(12), 1197-1199, 20231230, DOI: 10.1111/iju.15273, #2.6
- 2341083** Shiota M, Terada N, Kimura T, Kitamura H, Kamoto T, Eto M: Japanese Urological Oncology Group (JUOG): Differential cancer-specific survival with curative radiotherapy to the prostate for metastatic prostate cancer according to estimated survival by risk group, Int J Urol, 30(12), 1197-1199, 20231230, DOI: 10.1111/iju.15273, #2.6
- 2341084** Shiota M, Terada N, Kimura T, Kitamura H, Kamoto T, Eto M: Japanese Urological Oncology Group (JUOG): Differential cancer-specific survival with curative radiotherapy to the prostate for metastatic prostate cancer according to estimated survival by risk group, Int J Urol, 30(12), 1197-1199, 20231230, DOI: 10.1111/iju.15273, #2.6
- 2341085** Yukiya Fujisaki, Isamu Otsuka, Takahiko Kobayashi, Nao Miyake, Kaoru Ito, Naoki Terada, Toshiyuki Kamoto, Hideyasu Iwamoto: Use of the anterior prostatic urethral mucosa preservation technique during holmium laser enucleation of the prostate can reduce postoperative stress urinary incontinence, Asian Journal of Endoscopic Surgery, 17(1), 202310, DOI: 10.1111/ases.13256, #1
- 2341086** A. Muramoto, S. Inamura, H. Hoshino, N. Terada, M. Kobayashi: Paradoxical expression of R-10G-reactive antigen in human testicular embryonal carcinoma, J Histochem Cytochem, 71(10), 555-563, 202310, DOI: 10.1369/00221554231199134, #3.2
- 2341087** Yoichiro Tohi, Ryou Ishikawa, Takuma Kato, Jimpei Miyakawa, Ryuji Matsumoto, Keiichiro Mori, Koji Mitsuzuka, Junichi Inokuchi, Masafumi Matsumura, Kenichiro Shiga, Hirohito Naito, Yasuo Kohjimoto, Norihiko Kawamura, Masaharu Inoue, Shusuke Akamatsu, Naoki Terada, Yoshiyuki Miyazawa, Shintaro Narita, Reiji Haba, Mikio Sugimoto: Increasing age predicts adverse pathology including intraductal carcinoma of the prostate and cribriform pattern in deferred radical prostatectomy after urethral resection, Shiota M, Tatarano S, Kamoto T, Matsuyama H, Sakai H, Igawa T, Kamba T, Fujimoto N, Sekine Y, Kimura H, Narita S, Terada N, Momozawa Y, Akamatsu S, Habuchi T, Yokomizo A, Naito S, Eto M: Genome-wide association studies in advanced prostate cancer: KYUCOG-1401-A study, Endocr Relat Cancer, 30(7), 20230601, DOI: 10.1530/ERC-23-0044, #3.9
- 2341088** Shiota M, Tatarano S, Kamoto T, Matsuyama H, Sakai H, Igawa T, Kamba T, Fujimoto N, Sekine Y, Kimura H, Narita S, Terada N, Momozawa Y, Akamatsu S, Habuchi T, Yokomizo A, Naito S, Eto M: Genome-wide association studies in advanced prostate cancer: KYUCOG-1401-A study, Endocr Relat Cancer, 30(7), 20230601, DOI: 10.1530/ERC-23-0044, #3.9
- 2341089** Shiota M, Akamatsu S, Sekine Y, Kimura H, Narita S, Fujimoto N, Terada N, Blas L, Habuchi T, Kamoto T, Momozawa Y, Eto M: Genetic variations predicting progression with docetaxel and novel androgen-receptor pathway inhibitors, Cancer Sci, 114(4), 1625-1634, 202304, DOI: 10.1111/cas.15718, #5.7

b. 原著論文（審査無）

c. 原著論文（総説）

d. その他研究等実績（報告書を含む）

- 2341090** Okumura Y, Nobukawa S, Ishibashi T, Takahashi T, Katsuki M, Kakitsuba T, Tanaka N, Fukiage Y, Kabuto T, Kobayashi H, Tsutsumiuchi M, Shinagawa T, Seki M, Inamura S, Taga M, Fukushima M, Kosaka H, Yokoyama O, Terada N: Nocturia improves with regular sleep habits by proper bedtime determined by a wearable device: A prospective interventional crossover study., 日本泌尿器科学会会報, 202304
- 2341091** Kakitsuba T, Inamura S, Kobayashi H, Tsutsumiuchi M, Seki M, Fukushima M, Terada N: Psychological stress would be the factor exacerbating pelvic pain in patients with interstitial cystitis and bladder pain syndrome., ICS2023, 202309
- 2341092** Okumura Y, Nobukawa S, Ishibashi T, Takahashi T, Katsuki M, Kakitsuba T, Tanaka N, Fukiage Y, Kabuto T, Kobayashi H, Tsutsumiuchi M, Shinagawa T, Seki M, Inamura S, Taga M, Fukushima M, Kosaka H, Yokoyama O, Terada N: Personalized bedtime determined by a wearable device improves nocturia: A prospective interventional crossover study., AUA News, 2(8), 103, 202308
- 2341093** Okumura Y, Nobukawa S, Ishibashi T, Takahashi T, Katsuki M, Kakitsuba T, Tanaka N, Fukiage Y, Kabuto T, Kobayashi H, Tsutsumiuchi M, Shinagawa T, Seki M, Inamura S, Taga M, Fukushima M, Kosaka H, Yokoyama O, Terada N: Personalized bedtime determined by a wearable device improves nocturia: A prospective interventional crossover study., AUA2023, 202305

(3) 和文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

- 2341094** 福島 正人: 神経疾患（中枢、脳神経、脊髄損傷など）, メディカ出版, 202309, 978-4-840-48216-5

c. 編集・編集・監修

(4) 和文：論文等

a. 原著論文（審査有）

b. 原著論文（審査無）

c. 総説

d. その他研究等実績（報告書を含む）

- 2341095** Okumura Y, Nobukawa S, Ishibashi T, Takahashi T, Katsuki M, Kakitsuba T, Tanaka N, Fukiage Y, Kabuto T, Kobayashi H, Tsutsumiuchi M, Shinagawa T, Seki M, Inamura S, Taga M, Fukushima M, Kosaka H, Yokoyama O, Terada N: 夜間頻尿改善を目指す就寝時刻設定アプリケーションの開発, 国立研究開発法人科学技術振興機構新技術説明会, 202309
- 2341096** Okumura Y, Nobukawa S, Ishibashi T, Takahashi T, Katsuki M, Kakitsuba T, Tanaka N, Fukiage Y, Kabuto T, Kobayashi H, Tsutsumiuchi M, Shinagawa T, Seki M, Inamura S, Taga M, Fukushima M, Kosaka H, Yokoyama O, Terada N: 適正な就寝時刻により夜間頻尿は改善する, 日本老年泌尿器科学会総会, 202306

e. 国際会議論文

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

f. その他

(2) 国内学会（全国レベル）

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

2341097 寺田 直樹：CRPC治療の最前線，第110回日本泌尿器科学会総会，神戸市，20230421

2341098 寺田 直樹：転移性前立腺癌に対する局所放射線治療，第73回日本泌尿器科学会中部総会，奈良市，20231013

2341099 寺田 直樹：進行性前立腺癌に対する集学的治療，第37回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会，米子市，20231109

c. 一般講演（口演）

2341100 多賀 峰克：ロボット支援前立腺全摘除術時に膀胱憩室切除術を同時施行した1例，第37回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会，米子市，20231109

d. 一般講演（ポスター）

2341101 吹上 優介：当院における経直腸的MRI-TRUS fusion 前立腺生検の検討：通常生検との比較，日本泌尿器腫瘍学会第9回学術集会，横浜市，20231021

2341102 小林 久人：PDE-5阻害薬が2型糖尿病ラットのの前立腺・膀胱に与える影響，第33回泌尿器科分子・細胞研究会，福岡市，20240216

2341103 吹上 優介：当院における経直腸的MRI-TRUS fusion 前立腺生検の検討，第73回日本泌尿器科学会中部総会，奈良市，20231013

e. 一般講演

2341104 多賀 峰克：術中尿管損傷に対しロボット支援腹腔鏡下に尿管尿管吻合術を行った2例，第36回日本内視鏡外科学会総会，横浜市，20231208

2341105 堤内 真実、兜 貴史、青木 芳隆、横山 修：当院におけるボツリヌス毒素膀胱内注入療法の初期治療，日本女性骨盤底医学会第25回学術集会，東京，20230805

f. その他

(3) 国内学会（地方レベル）

a. 招待・特別講演等

2341106 寺田 直樹：進行性前立腺癌の各フェーズにおける治療戦略，第266回日本泌尿器科学会東北地方共催セミナー，仙台市，20230513

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

f. その他

(4) その他の研究会・集会

a. 招待・特別講演等

2341107 寺田 直樹：新たな前立腺癌治療戦略，Prostate Cancer Expert Seminar，大阪市，20231207

2341108 寺田 直樹：腎癌に対する手術療法とその後，鳥取腎細胞がん治療講演会，鳥取市，20230707

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

2341109 Dr.Terada Naoki: Patient-derived xenograft models for precision-medicine in prostate cancer, The39th KOREA-JAPAN Urological Congress Luncheon Seminar, つくば市, 20231028

2341110 寺田 直樹：日本人RWDから見てきた！PSAベースで治療を切り替えるメリット，JEVTANA CRPC Online, Web開催，20240313

2341111 多賀 峰克：RCC治療最新情報，第61回福井泌尿器科フォーラム，福井市，20230727

2341112 西川 貴雄、堤内 真実、上木 啓輔、大久保 温、徐 元錫、垣鏑 忠、吹上 優介、奥村 悦久、小林 久人、稲村 聡、関 雅也、多賀 峰克、福島 正人、寺田 直樹：脾転移と違って切除したら悪性リンパ腫であった去勢抵抗性前立腺癌の一例，第477回日本泌尿器科学会北陸地方会，金沢市，20240309

2341113 寺田 直樹：mHSPCに対する最新の治療戦略，ニューベクオ錠発売3周年記念講演会in京都，京都市，20230601

業績一覧

- 2341114 寺田 直樹：前立腺癌治療における薬物療法の位置づけと臨床像について，茨城県前立腺がんフォーラム2023，つくば市，20230920
- 2341115 寺田 直樹：転移性前立腺癌に対する全身治療と局所治療，Prostate Cancer Bridging Seminar，東京，20230825
- 2341116 寺田 直樹：LH-RHアンタゴニストを再考する，FERRING Uro-oncology Web Seminar，Web開催，20240311
- 2341117 西川 貴雄、垣鎔 忠、上木 啓輔、徐 元錫、田中 伸樹、吹上 優介、奥村 悦久、小林 久人、堤内 真実、関 雅也、稲村 聡、多賀 峰克、福島 正人、寺田 直樹：難治性膀胱炎の一例，第475回日本泌尿器科学会北陸地方会，金沢市，20230729
- 2341118 稲村 聡：10分でまとめる排尿研究の過去・現在・未来～福井編～，FMM Conference，福井市，20231125
- 2341119 多賀 峰克：FMM(福井・宮崎・三重)におけるmHSPC診療の実態，FMM Conference，福井市，20231125
- 2341120 寺田 直樹：転移性前立腺癌に対する全身治療と局所治療，前立腺癌Webセミナー，Web開催，20231222
- 2341121 寺田 直樹：前立腺癌研究から排尿研究へ，令和5年度大文字会，京都市，20230819
- 2341122 寺田 直樹：新たな前立腺癌治療戦略，京都CRPCセミナー，京都市，20240315
- 2341123 稲村 聡：OAB診療のポイント-最新エビデンスを踏まえて-，Next Generation Urologist Seminar in Chiba，福井市，20230920
- 2341124 寺田 直樹：新たな前立腺癌治療戦略，西神戸Urology Seminar，神戸市，20231122

f. その他

(C) 特許等

区分	内容（発明の名称）	発明者又は考案者
----	-----------	----------

(D) その他業績

4. グラント取得

(A) 科研費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額（配分額）
区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額（配分額）
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	心理的ストレスによる膀胱機能障害の発症機序の解明ー膀胱壁のCRFに注目してー	関 雅也	小林 久人、堤内 真実、寺田 直樹	20230401-20280331	¥2,600,000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	心理的ストレスによる膀胱機能障害の発症機序の解明ー膀胱壁のCRFに注目してー	関 雅也	小林 久人、堤内 真実、寺田 直樹	20230401-20280331	¥2,600,000

区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額
区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額
受託研究	特定非営利活動法人J-Cap研究会	前立腺がん患者の診断時背景因子と初期治療および治療経過に関する実態調査研究	多賀 峰克	20161201-20290331	¥576,500
受託研究	M S D 株式会社	転移性腎細胞癌患者における治療パターン、治療アウトカム及び医療資源利用状況に関する観察研究：Patterns of treatment and Outcomes Evaluation in Metastatic Renal Cell Carcinoma Patients in Japan (POEM)	稲村 聡	20210614-20261231	¥550,000
受託研究	ヤンセンファーマ株式会社（代理人：IQVIA サービシーズ ジャパン株式会社）	日本の高リスク転移性ホルモン療法感受性前立腺癌患者の臨床転帰を観察するレジストリ試験 The Registry to Observe Clinical Outcomes of Patients with High-risk Metastatic Hormone-naïve Prostate Cancer in Japan	関 雅也	20200901-20251231	¥2,475,000
受託研究	イーピーエス株式会社	排尿筋低活動の非侵襲的診断基準に関する臨床研究	寺田 直樹	20230715-20241130	¥0
受託研究	国立大学法人宮崎大学	High volume 転移を認める前立腺癌患者に対する局所放射線治療を併用する標準治療の確立と治療効果予測マーカーの開発	寺田 直樹	20230401-20240331	¥1,118,000

業績一覧

受託研究	イーピーエス株式会社	排尿筋低活動の非侵襲的診断基準に関する臨床研究	寺田 直樹	20230715-20241130	¥0
受託研究	国立大学法人宮崎大学	High volume 転移を認める前立腺癌患者に対する局所放射線治療を併用する標準治療の確立と治療効果予測マーカーの開発	寺田 直樹	20230401-20240331	¥1,118,000
受託研究	ヤンセンファーマ株式会社（代理人：IQVIA サービシーズ ジャパン株式会社）	日本の高リスク転移性ホルモン療法感受性前立腺癌患者の臨床転帰を観察するレジストリ試験 The Registry to Observe Clinical Outcomes of Patients with High-risk Metastatic Hormone-naïve Prostate Cancer in Japan	関 雅也	20200901-20251231	¥2,475,000

(B) 奨学寄附金

受入件数	4
受入金額	¥11,700,000

5. その他の研究関連活動

(A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
----	---------	-----	-----	-----

(B) 学会の実績

学会の名称	役職	氏名
泌尿器内視鏡学会	代議員	寺田 直樹
日本性機能学会	代議員	寺田 直樹
泌尿器科分子・細胞研究会	代議員	寺田 直樹
小児泌尿器科学会	専門医	寺田 直樹
日本泌尿器腫瘍学会	代議員	寺田 直樹
日本癌治療学会	代議員	寺田 直樹
日本泌尿器科学会	学術委員会 委員	寺田 直樹
日本癌学会	委員	寺田 直樹
日本泌尿器内視鏡学会	委員	寺田 直樹
日本小児泌尿器学会	委員	寺田 直樹
米国泌尿器科学会	委員	寺田 直樹
日本排尿機能学会	委員	寺田 直樹
日本内視鏡外科学会	委員	寺田 直樹
日本泌尿器病理研究会	委員	寺田 直樹

(C) 座長

国内学会 (全国レベル)	学会名	氏名
一般講演	福井県泌尿器科医会8月例会	寺田 直樹
招待・特別講演等	福井OABフォーラム	寺田 直樹
一般講演	福井県泌尿器科医会8月例会	寺田 直樹
一般講演	第475回日本泌尿器科学会北陸地方会	稲村 聡
一般講演	福井県泌尿器科医会8月例会	寺田 直樹
シンポジウム等	第73回日本泌尿器科学会中部総会	寺田 直樹
一般講演（口演）	第73回日本泌尿器科学会中部総会	多賀 峰克
シンポジウム等	第73回日本泌尿器科学会中部総会	寺田 直樹
一般講演（ポスター）	第73回日本泌尿器科学会中部総会	福島 正人
一般講演	AstraZeneca Prostate Cancer National Web Symposium	寺田 直樹
一般講演	Prostate Cancer Academy Webセミナー	寺田 直樹
一般講演（口演）	第36回日本内視鏡外科学会総会	寺田 直樹
招待・特別講演等	福井OABフォーラム	寺田 直樹
招待・特別講演等	福井泌尿器科フォーラム	寺田 直樹
一般講演	福井県泌尿器科医会講演会	多賀 峰克
招待・特別講演等	福井県泌尿器科医会講演会	寺田 直樹
招待・特別講演等	6月福井県泌尿器科医会講演会	寺田 直樹
一般講演	第61回福井泌尿器科フォーラム	寺田 直樹
一般講演	第4回ふくい排せつケア研究会	寺田 直樹
招待・特別講演等	4月福井県泌尿器科医会講演会	寺田 直樹
シンポジウム等	第36回日本老年泌尿器科学会	寺田 直樹
一般講演	福井県泌尿器科医会8月例会	寺田 直樹
シンポジウム等	第73回日本泌尿器科学会中部総会	寺田 直樹
シンポジウム等	第36回日本老年泌尿器科学会	寺田 直樹
シンポジウム等	第73回日本泌尿器科学会中部総会	寺田 直樹

業績一覧

一般講演	AstraZeneca Prostate Cancer National Web Symposium	寺田 直樹
一般講演	Prostate Cancer Academy Webセミナー	寺田 直樹
一般講演（口演）	第36回日本内視鏡外科学会総会	寺田 直樹
招待・特別講演等	福井泌尿器科フォーラム	寺田 直樹
招待・特別講演等	福井県泌尿器科医会講演会	寺田 直樹
一般講演	第4回ふくい排せつケア研究会	寺田 直樹
招待・特別講演等	6月福井県泌尿器科医会講演会	寺田 直樹
一般講演	第61回福井泌尿器科フォーラム	寺田 直樹
招待・特別講演等	4月福井県泌尿器科医会講演会	寺田 直樹

(D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	査読・編集	委員長（主査）・委員の別	氏名	査読編数
----------	-------	--------------	----	------

(E) その他

6. 産業・社会への貢献

(A) 国・地域等への貢献

(1) 審議会・委員会・公益法人・会社等への参加状況

区分	機関の名称等	委員会の名称等・役割	氏名	期間
公益法人等	独立行政法人大学改革支援・学位授与機構	学位審査会専門委員		20230412-20250331
公益法人等	福井県臓器移植推進財団	常務理事		20230401-20240331

(2) 社会人等への貢献及び学校等との連携・協力による活動

区分	活動名・活動内容	主催者・対象者等	氏名
----	----------	----------	----

(B) 国際貢献

国際協力事業

活動名・活動内容	氏名	相手方機関名	役割	期間	活動国名
----------	----	--------	----	----	------

(C) その他業績

(D) 特記事項